

# 大隅定住自立圏の取組 について

定住自立圏構想推進セミナー in 松山

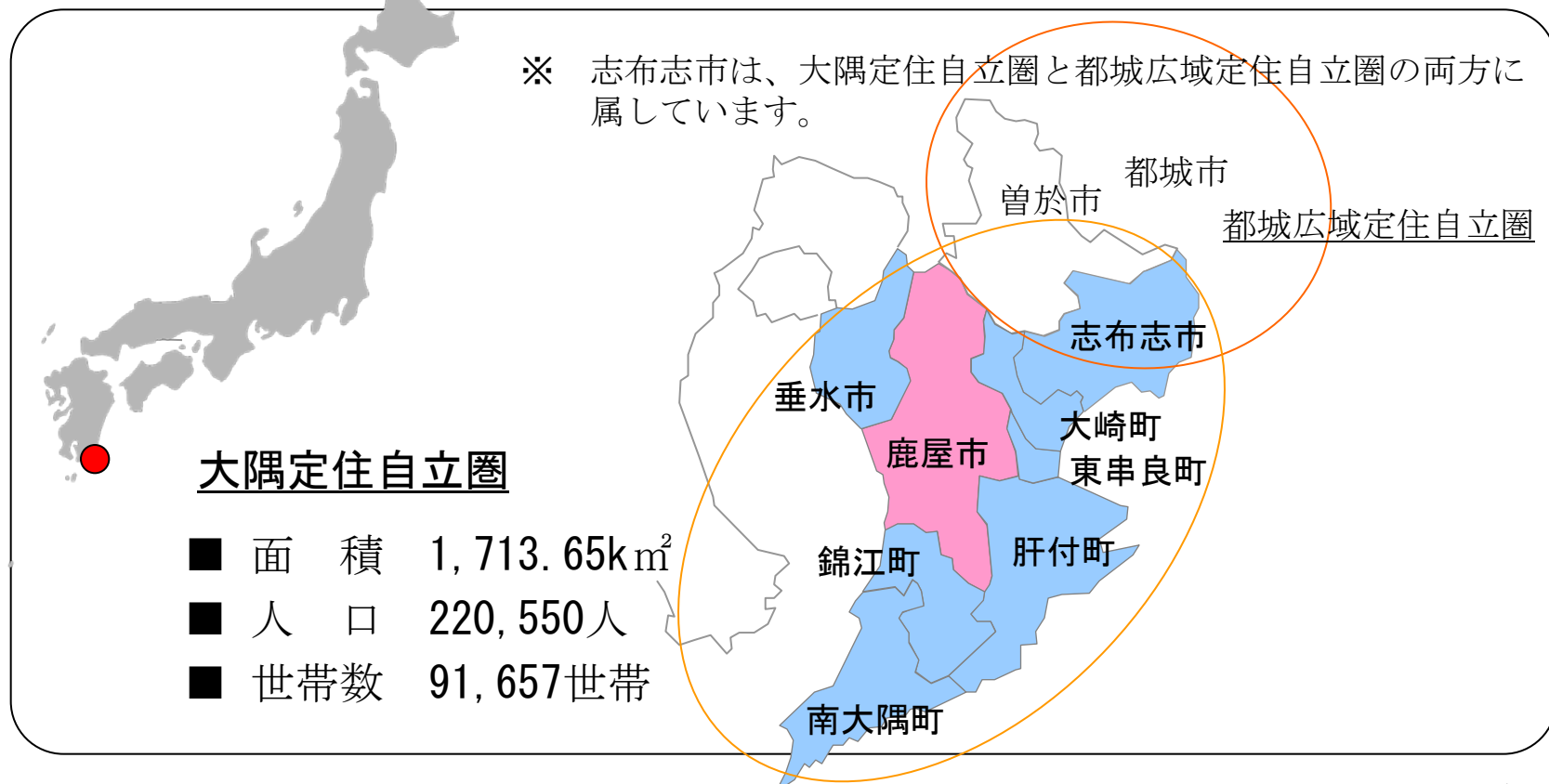
鹿屋市企画財政部

企画調整課長 川畑 晴彦

# 1 大隅定住自立圏の概要

## (1) 位置

大隅定住自立圏は、鹿児島県の東部大隅半島に位置し、鹿屋市を中心市として、垂水市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町の3市5町で形成しています。



※人口及び世帯数は平成17年国勢調査

## (2) 人口・高齢化率等

### ○構成市町の人口・高齢化率

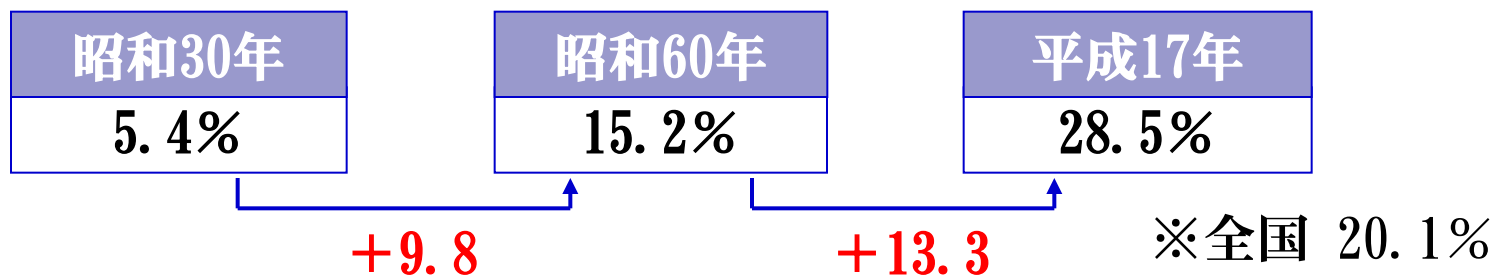
	鹿屋市	垂水市	志布志市	大崎町	東串良町	錦江町	南大隅町	肝付町
人口 (人)	106,208	18,928	34,770	15,303	7,122	10,015	9,897	18,307
高齢化率 (%)	23.6	33.3	29.6	29.6	33.2	38.7	41.2	34.8

(平成17年国勢調査)

### ○圏域の人口推移



### ○圏域の高齢化率推移



### (3) 産 業

圏域は、第1次産業を基幹産業として、肉用牛や豚などの畜産業やカンパチの養殖漁業で、全国トップクラスの産出量を誇っています。

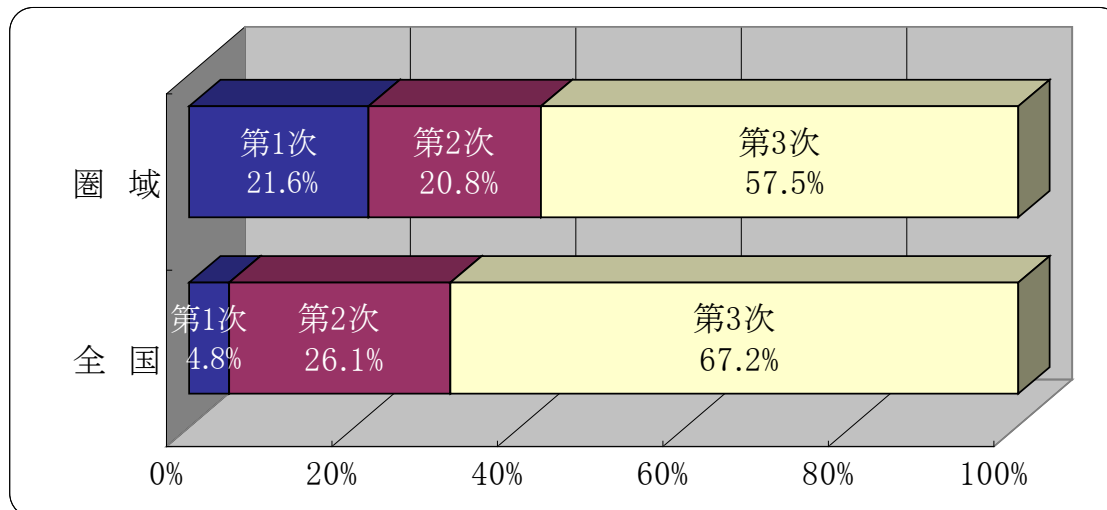
#### ○構成市町の産業別就業人口比率

(単位：%)

	鹿屋市	垂水市	志布志市	大崎町	東串良町	錦江町	南大隅町	肝付町
第1次	15.1	21.3	26.4	29.6	35.8	35.6	37.7	19.7
第2次	19.7	23.9	21.6	25.2	18.8	17.5	15.6	24.8
第3次	65.3	54.8	52.0	45.2	45.5	46.9	46.7	55.5

(平成17年国勢調査)

#### ○産業別就業人口比率の比較



## ○圏域の主要第1次産品の全国シェア

品目	シェア	備考
豚	5.9%	鹿屋市全国2位 ※産出額
肉用牛	4.2%	鹿屋市全国2位 ※産出額
ブロイラー	7.2%	大崎町全国4位、垂水市6位 ※産出額
甘藷	15.4%	鹿屋市全国2位、志布志市5位 ※収穫量
ピーマン	6.2%	東串良町全国4位、志布志市8位 ※収穫量
カンパチ	約50%	垂水市全国1位 ※水揚高

国内有数の食料供給基地を形成

## 2 大隅定住自立圏の形成の取組

### (1) 大隅地域の広域行政の取組

- **広域市町村圏協議会の設置（昭和46年10月）**
  - ・ 鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町の4市5町で組織
  - ※平成の大合併前は2市17町
- **大隅総合開発期成会（昭和62年）**
  - ・ 大隅地域4市5町の市町長、議会議長を委員とする任意協議会
  - ・ 「大隅はひとつ」の基本的な考え方の下、東九州自動車道など高速交通体系の整備促進や広域観光の取組を推進
- **大隅地方拠点都市地域の指定（平成6年9月）**
  - ・ 鹿屋市を中心とした大隅地域2市17町で指定
- **一部事務組合**
  - ・ 大隅広域事務組合（鹿屋市・垂水市・東串良町・錦江町・南大隅町・肝付町）
    - ※一般廃棄物、火葬場、介護保険要介護者認定
  - ・ 大隅肝属地区消防組合（鹿屋市・東串良町・錦江町・南大隅町・肝付町）
  - ・ 肝付東部衛生処理組合（鹿屋市・東串良町・肝付町）
  - ・ 曾於北部衛生処理組合（鹿屋市・曾於市・志布志市）

## (2) 大隅定住自立圏形成の経過

平成20年10月28日	先行実施団体に選定
21年 1月30日	大隅総合開発期成会幹事会 (広域市町村圏の企画担当課長会議)
<b>3月27日</b>	<b>中心市宣言</b> (鹿屋市)
5月25日	大隅総合開発期成会総会 (広域市町村圏の市町長・議長会議)
8月28日	大隅定住自立圏形成推進協議会設立
9月	各市町議会において協定の締結を議決
<b>10月 6日</b> <b>～ 7日</b>	<b>大隅定住自立圏形成協定締結</b> (鹿屋市と 2市5町)
22年 1月29日	定住自立圏共生ビジョン懇談会設置 (5回開催)
<b>3月31日</b>	<b>大隅定住自立圏共生ビジョン策定</b>

(参考：鹿屋市への通勤通学割合)

垂水市	志布志市	大崎町	東串良町	錦江町	南大隅町	肝付町
0.1076	0.0510	0.1715	0.3654	0.2273	0.1166	0.3405

### (3) 大隅定住自立圏の推進組織

#### 大隅定住自立圏形成推進協議会

役 割：大隅定住自立圏の取組の意思決定機関

構 成：3市5町の市町長及び議会議長

#### 副市町長会

役 割：協議会の事前調整（調整が必要な案件のみ）

構 成：3市5町の副市町長

#### 幹 事 会

役 割：協議会に提案する案件の事務レベルでの調整

構 成：鹿屋市企画財政部長及び3市5町の企画担当課長

※協議の内容に応じて、鹿屋市の関係部長及び部会長が出席

#### 専門部会

役 割：各所管分野に関する取組の提案・調整

構 成：3市5町の各分野の関係課長

分 野：①農林水産 ②商工・観光 ③交通 ④医療・福祉

※この他の分野については、必要に応じて専門部会を設置

※必要に応じて関係機関・団体等の職員等の出席を依頼

#### 作業部会

役 割：専門部会の協議に必要な資料等の作成

構 成：3市5町の各分野の関係課長補佐及び係長等

分 野：専門部会に同じ

※幹事会以上の会議には、大隅地域振興局（県）職員がオブザーバーとして参画



## 大隅定住自立圏の取組の基本的な考え方

- 国内有数の産出額を誇る農林水産業や恵まれた自然、多様な観光資源など、地域の資源・特性を生かすこと
- 整備が進む東九州自動車道や中核国際港湾志布志港、平成23年3月に全線開業する九州新幹線など、大隅地域の経済・産業の発展の土台・基礎となる高速交通ネットワークを生かすこと
- さらには、国や県を上回る速度で進行する高齢化や過疎化など、地域に共通する課題に対応していくこと

### 3 協定に基づき推進する具体的取組



# (1) 生活機能の強化

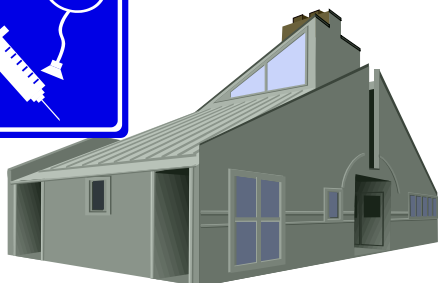
## ① 医療

### ■ 初期救急医療体制の維持・確保

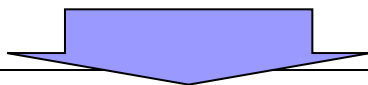
圏域共同で夜間急病センターを整備・運営し、圏域の初期救急医療体制を確保する。

#### 大隅地域の初期救急医療体制の崩壊

- ・ 医療機関の偏在（鹿屋市への集積）
- ・ 開業医の輪番による夜間救急体制の限界
- ※ コンビニ受診増加、医師不足、医師の高齢化



大隅広域夜間急病センター  
(平成23年4月開設予定)



#### 圏域共同で夜間急病センターを整備・運営

- ・ 鹿屋市がセンターを整備
- ・ 鹿屋市医師会が運営
- ・ 圏域各市町が運営に必要な経費を負担
- ※ 利用者実績割
- ・ 診療科目：内科、小児科
- ・ 診療時間：19:00～翌朝7:00（年間365日）
- ・ 2次救急は救急告示病院がオンコール待機

※夜間急病センターに救急電話相談センターを併設

## ■救急医療受診の適正化

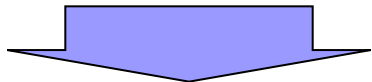
圏域共同で救急医療機関の適正受診の啓発を行い、圏域の救急医療体制を維持する。

核家族化、高齢化が進む中で  
救急医療の需要が増加

- ・軽症患者の救急車利用
- ・コンビニ受診

夜間当番医の受診者数の増加

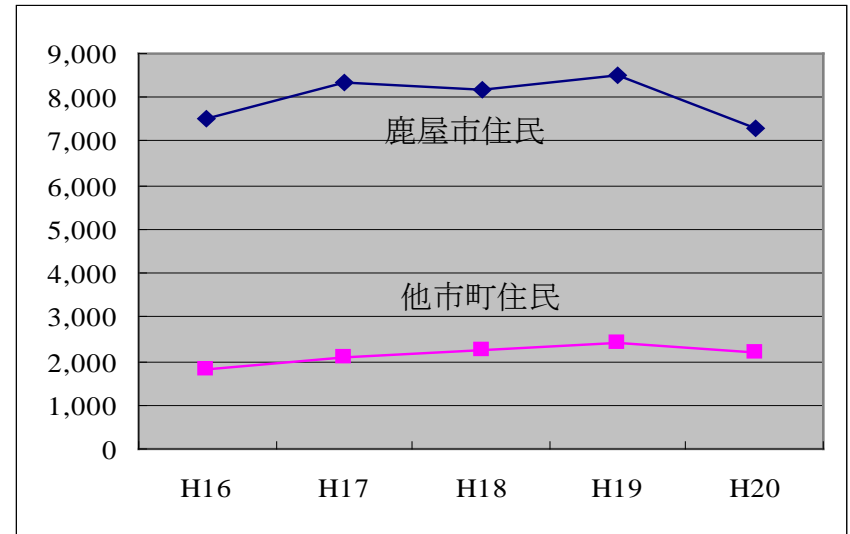
- ・平成19年度に適正受診啓発事業を実施
- ・平成20年度の受診者数は減少
- ・鹿屋市以外の受診者は微減



圏域共同で救急医療機関の適正受診の啓発

- ・パンフレットの共同作成
- ・各市町が住民を対象として実施する啓発活動（出前講座）に鹿屋市医師会の小児科医を講師として派遣  
※鹿屋市が医師会との調整を担う
- ・圏域住民を対象としたフォーラムの共同開催（毎年度）

○鹿屋市夜間当番医受診者数の推移



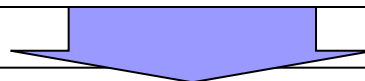
## ② 産業振興

### ■ 圏域内の畜産飼料自給率の向上

コントラクター組織の育成及びTMRセンター整備を促進し、圏域内の畜産飼料の自給率を高める。

#### 圏域の基幹産業である農業生産体制の強化

- ・ 消費者の食の安全・安心に対する意識の高まり
- ・ 農家の高齢化
- ・ 畜産農家及び酪農家の規模拡大による分業化
- ・ 遊休農地の増加



#### 効率的な粗飼料生産体制の確立

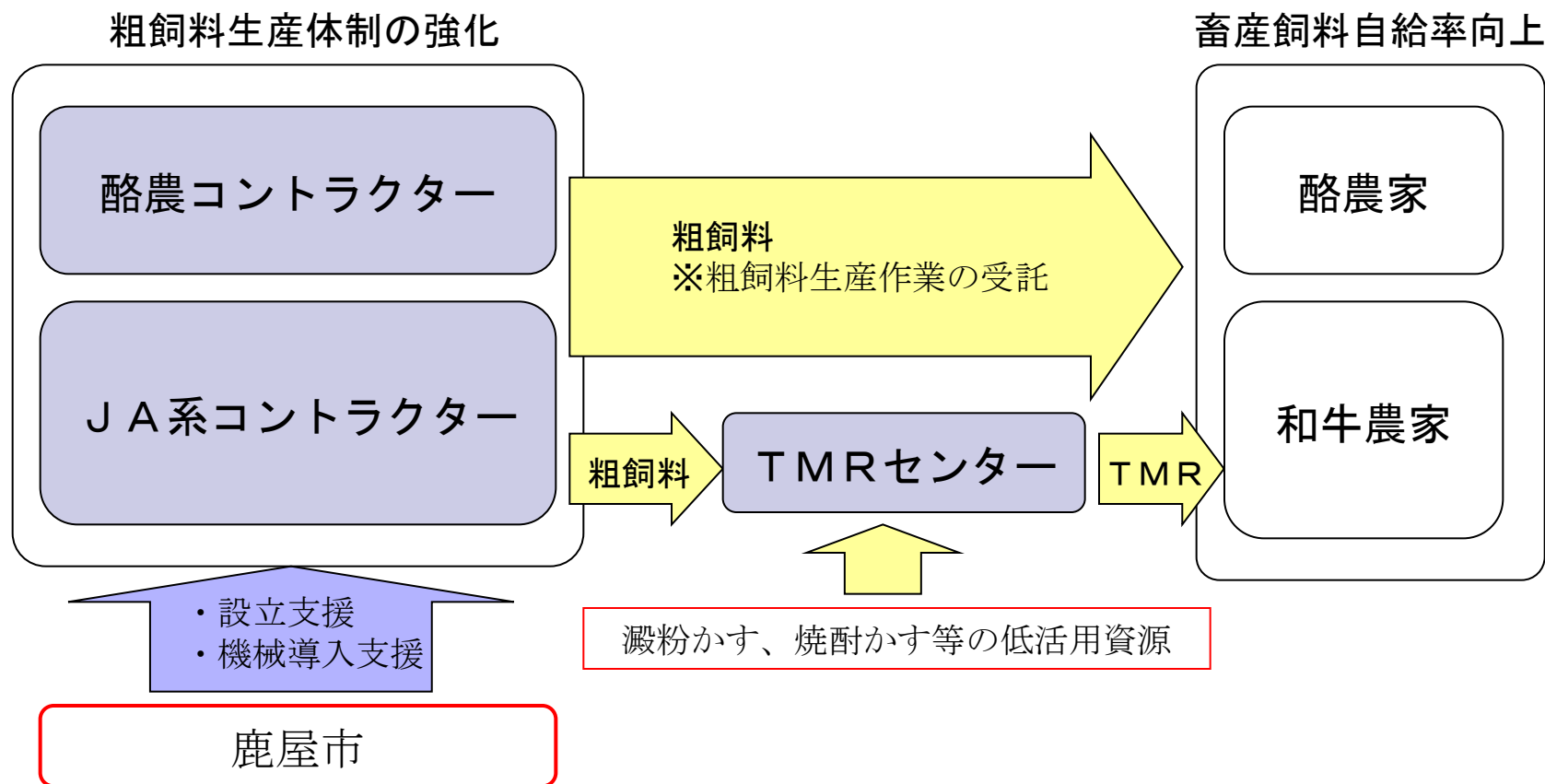
- ・ コントラクター組織の設立及び機械導入等の支援
- ・ 農家のコントラクター利用促進
- ・ TMRセンター整備の支援

※コントラクター：農作業の一部を受託する団体・個人

※TMR (Total Mixed Ration)：粗飼料、濃厚飼料、ミネラル、ビタミン等を混合し、必要な栄養素をすべて含んだ完全混合飼料

※TMRセンター：畜産農家の労働及び生産コスト低減等を図るため、TMRを調製し畜産経営体に供給する施設

## ○畜産飼料自給率向上の取組の概要



## (2) 結びつきやネットワークの強化

### ① 地域公共交通

#### ■ 交流人口増加のためのバスネットワークの構築

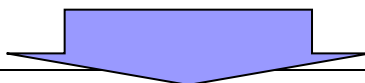
平成23年3月の九州新幹線全線開業の効果を圏域に導入するとともに圏域住民の交通の利便性を向上させる。

##### 路線バスの利用者の減少

- ・ 昭和62年に国鉄大隅線が廃止され、路線バスが唯一の公共交通
- ・ モータリゼーションの進展等によるバス利用者の減少
- ・ 平成18年にバス事業者が赤字路線（県内305系統）の廃止を届出  
※沿線市町と共同で廃止路線代替バス等の運行により確保

##### 県都鹿児島市～大隅地域間の交通アクセス

- ・ 薩摩、大隅半島内の路線バスと両半島間を結ぶフェリーの乗換
- ・ 平成23年2月には、九州新幹線が全線開業  
※観光客等を誘客するための取組が必要



##### 大隅地域の公共交通のネットワーク化

- ・ 鹿児島中央駅～鹿屋間の直行バスの運行
- ・ 鹿屋市と各市町間を結ぶバスネットワークの構築
- ・ 圏域内のバス路線の結節点となる鹿屋市のバス待合施設の整備



関西・中国・北部九州



## 鹿児島中央駅～鹿屋間直行バス

- ・鹿児島中央駅～鹿屋間直行バスの運行
- ・直行バスと鹿屋～各市町間とを結ぶ路線バスの接続調整

九州新幹線 全線開業  
(平成23年3月)

鹿児島空港

空港連絡バス

鹿児島中央駅

鹿児島中央駅～鹿屋間直行バス  
(平成21年12月～)

バス待合施設整備

鹿屋市

宮崎

中核国際港湾志布志港  
(さんふらわあ)

大阪

指宿

廃止路線代替バスの  
接続調整、運行維持

## フェリー・鉄道と路線バスの接続調整

- ・フェリー・鉄道と各市町間を結ぶ路線バスの接続調整

## 廃止路線代替バス等の運行維持

- ・各市町を結ぶ路線バスの運行維持



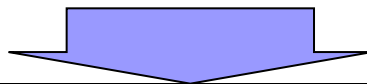
## ② 地域内外の住民との交流・移住促進

### ■ 圏域への誘客及び観光資源のネットワーク化

圏域の豊かな自然環境や温暖な気候を活かし、スポーツ合宿の誘致や体験型観光の推進などにより交流人口の増加を図る。

人口減少が進む中、交流人口の増加が地域活性化の鍵

- ・ 交流人口の増加による観光産業の育成
- ・ 恵まれた自然など、地域資源の活用



スポーツ合宿・大会の誘致等による交流の促進

- ・ スポーツ交流促進情報システムを構築
  - ※圏域内のスポーツ施設や体験型観光の情報を発信
- ・ スポーツ交流促進パンフレットを圏域共同で作成
- ・ 福岡、関西の旅行エージェント等へのPR活動
- ・ 各市町において、受入環境の整備  
(スポーツ施設の機能充実、観光施設の整備等)



# 大隅スポーツ合宿・イベントガイド

Sports, Sports training camp, Sports event, Experience sightseeing

[トップへ](#) [ご利用に当たって](#) [リンク掲載について](#) [お問い合わせ](#)

- ホーム
- スポーツ施設一覧
- 目的で検索▼
- 地域で検索▼
- スポーツイベント一覧
- 体験型観光一覧
- 宿泊施設一覧
- 観光施設一覧
- 公共交通情報
- 気象情報
- お問い合わせ

## 海・山の自然の恵みあふれる「大隅半島」で「スポーツ合宿」しませんか



大隅半島から、スポーツ合宿や体験型観光の情報を発信します。  
 大隅半島は、鹿児島県の南東部に位置しており、北東部は宮崎県界に接し、西部は錦江湾、南東部は太平洋に面しています。霧島屋久国立公園に属する南端の佐多岬などの景勝地をはじめ、太平洋側の海岸部は日南海岸国定公園に指定されており、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた地域です。  
 ぜひ、大隅半島で、「感動!」「体験!」、しませんか。

下のボタンでスポーツ施設一覧を表示します。

野球	ソフトボール	テニス
サッカー	ラグビー	陸上競技
グラウンドゴルフ	ゲートボール	自転車
ゴルフ	フットサル	バスケットボール
バレーボール	ハンドボール	バドミントン
卓球	柔道	剣道
弓道	相撲	空手
アーチェリー	水泳	カヌー



**◎ Kanoya City**  
 鹿児島県 薩摩市:ひとまち・産業が  
 躍動する「健康・文楽都市 かのや」



### 連絡先

薩摩市観光振興課  
 (大隅半島観光振興協議会)  
 〒893-8501  
 鹿児島市其志町 20番1号  
 TEL: 0994-31-1121  
 FAX: 0994-40-8688

0003523

[トップへ](#) [ご利用に当たって](#) [リンク掲載について](#) [お問い合わせ](#)

Copyright©2010 Sport-Oosumi All Right Reserved

http://www.e-oosumi.jp/sports/

### (3) 圏域マネジメント能力の強化

#### ○ 圏域内市町の職員等の交流

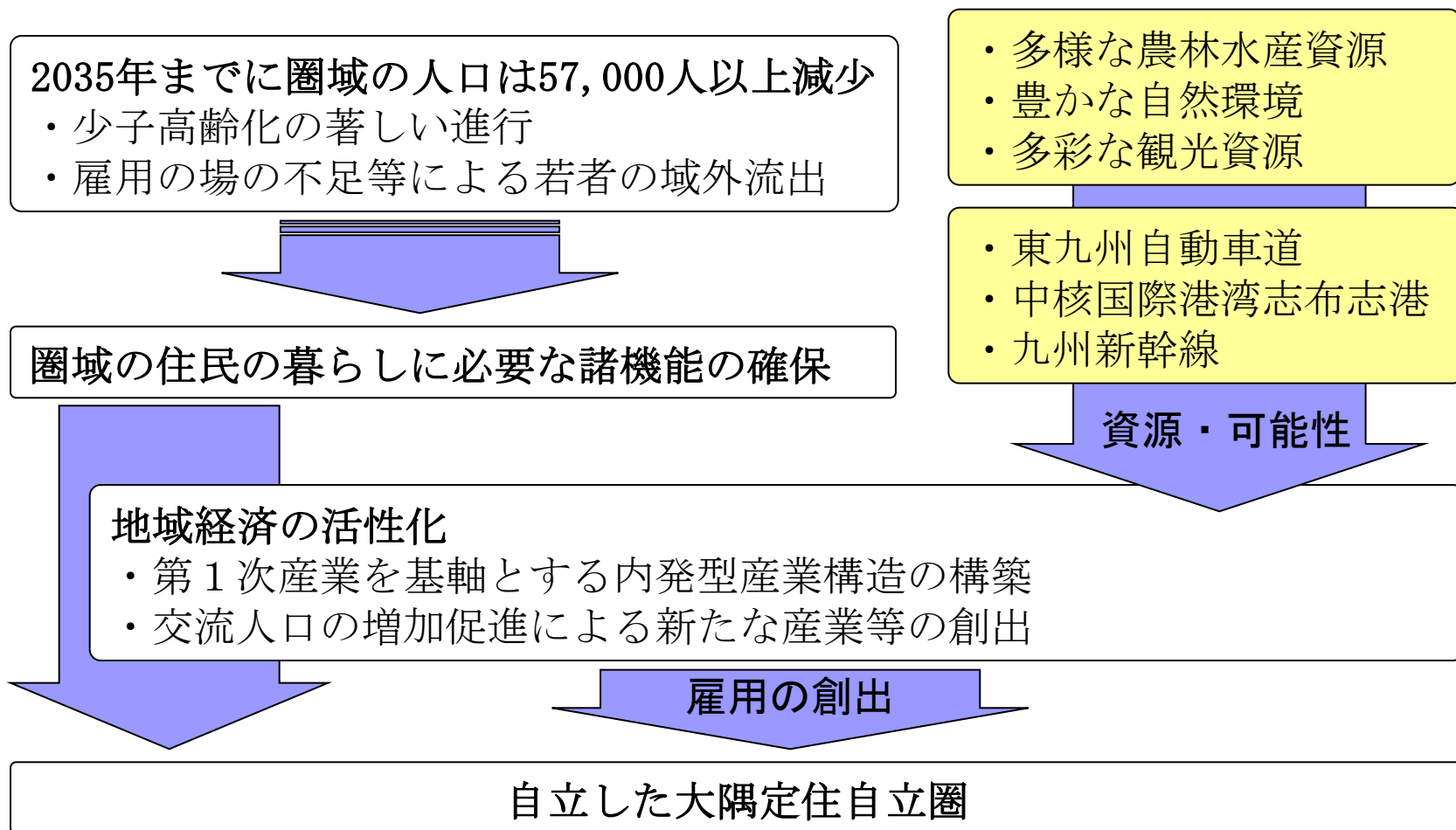
#### ■ 広域の計画策定や研修を通じた圏域内市町の職員の交流の促進

協定に基づく計画策定や研修等により、圏域内市町職員の交流を促進し、職員の意識改革、政策形成能力の向上など圏域マネジメント能力の強化を図る。

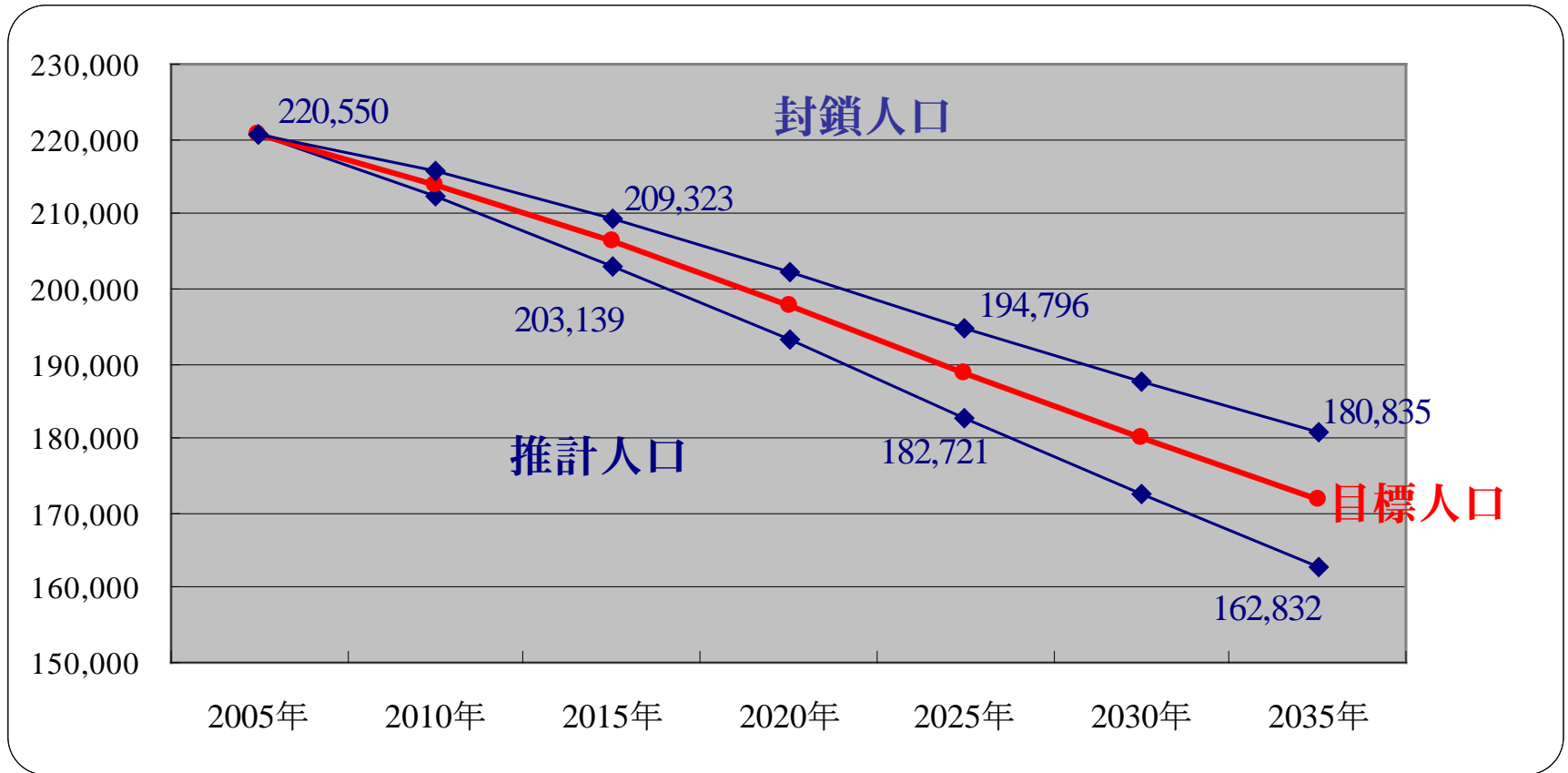
- ・ 夜間急病センターの整備計画及び運営計画策定への圏域市町職員の参画
- ・ 鹿児島中央駅～鹿屋間直行バスの利用促進キャンペーン活動を通じた職員の交流促進
- ・ スポーツ交流促進情報システム管理・操作研修への圏域市町職員の参加

# 4 今後の方向性

圏域の住民の暮らしに必要な諸機能の確保と圏域の資源、可能性を最大限に活用した地域活性化の取組を圏域一体となって進め、自立した大隅定住自立圏を創造していきます。



## ○圏域の将来人口推計



国立社会保障・人口問題研究所推計

鹿屋市市制施行5周年記念

AUTUMN IN KANOYA ROSE GARDEN

# かのやばら祭り 2010秋

10/23<sup>[土]</sup>～11/28<sup>[日]</sup>

鹿屋市 企画財政部 企画調整課 定住自立圏推進室

〒893-8501 鹿屋市共栄町20番1号

Tel : 0994-31-1125 Fax : 0994-42-2001

Mail : kikaku@e-kanoya.net



まっすぐかのや